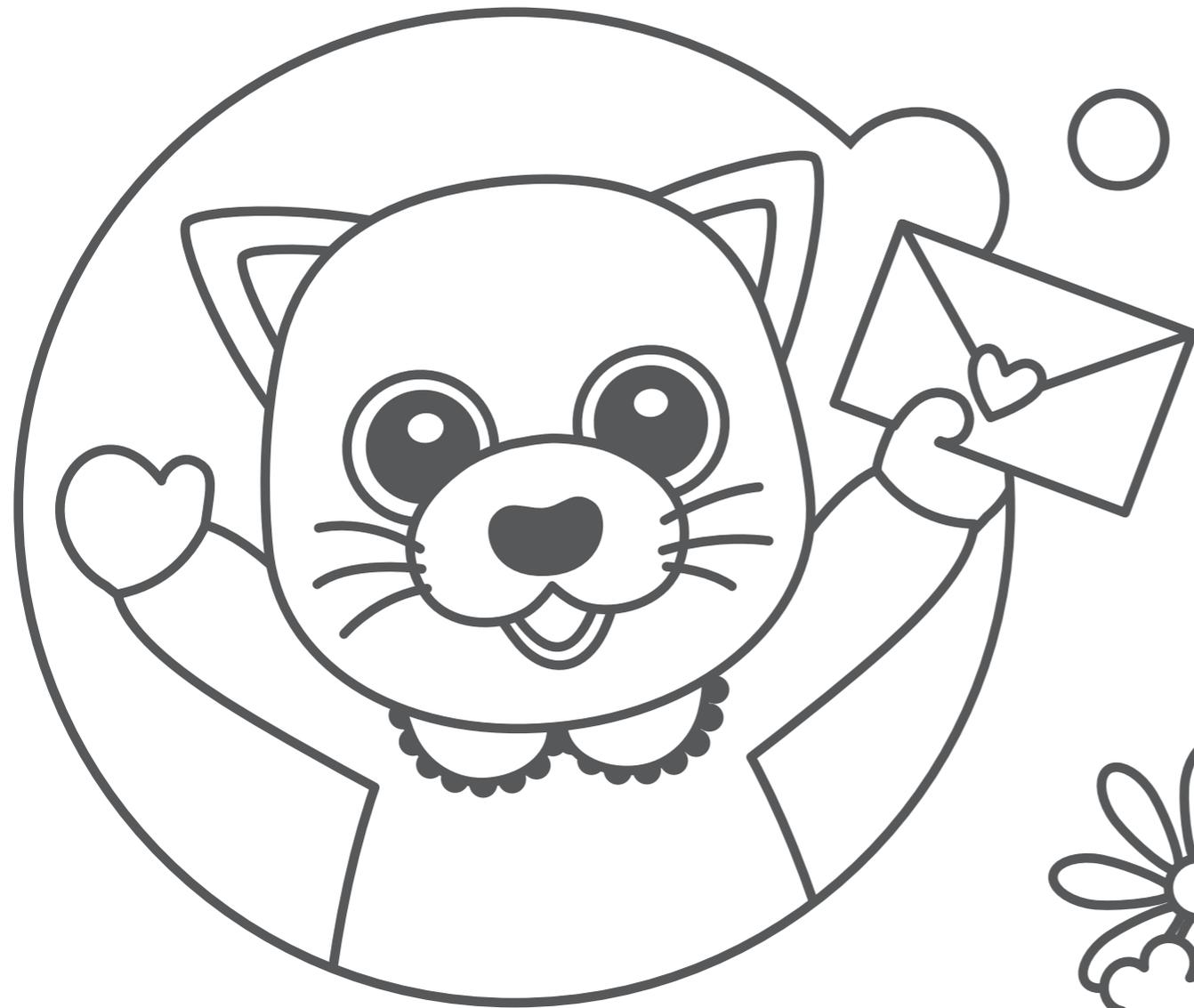
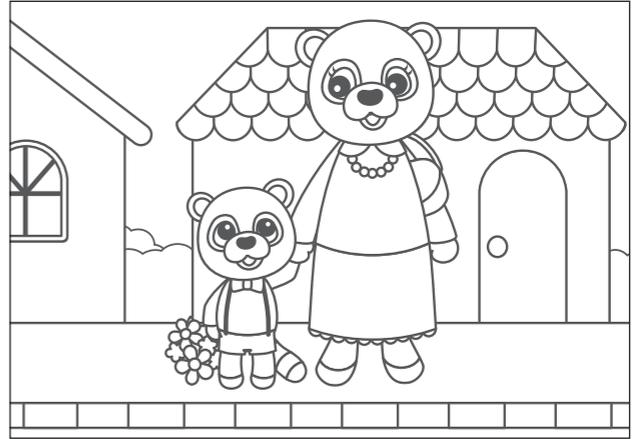


ルールとまもるの

# こうつうあんぜん

とびだしてなかに？のまき





## 2

お母さんの用意もできて、いよいよ出発です。  
早く行きたくて、慌てて玄関を出ようとした  
まもる君に、お母さんが言いました。

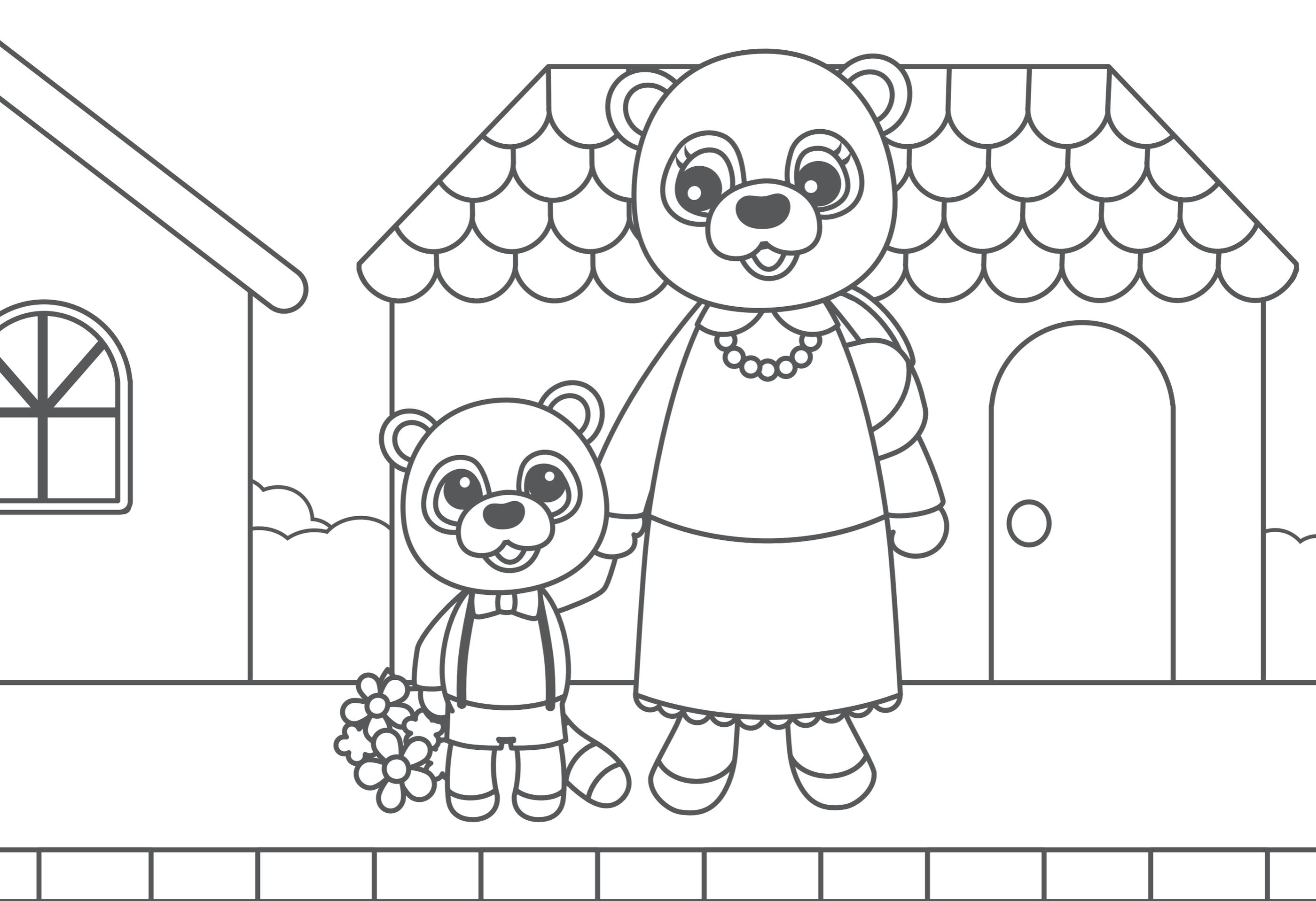
お母さん「まもる君、道路を歩く時には、  
大人の人と手をつないで歩かないと危ないのよ。  
それに、**飛び出し**は絶対にしないでね。」

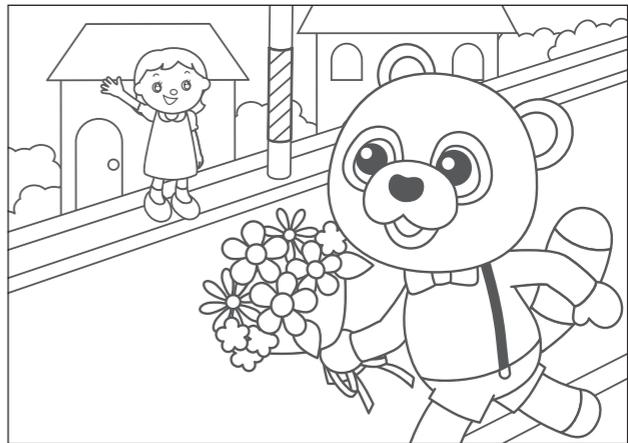
まもる 「ねえ、飛び出さってなあに？」

お母さん「あのね、道路を歩いていて、右や左を  
ちゃんと見ないで道路を渡ってしまうことを  
**飛び出し**って言うのよ。」

ゆっくり諭すように。  
太字は強調して。

ゆっくり諭すように。  
太字は強調して。





### 3

お母さんに教えてもらったまもる君ですが、飛び出してしまうことか、まだよく分かっていないようです。でも、早くルールちゃんに会いたかったので、お母さんと手をつないで出発しました。

お母さん「道路を歩く時には、道の端、白い線がある時には、白い線の内側を歩くのよ。」

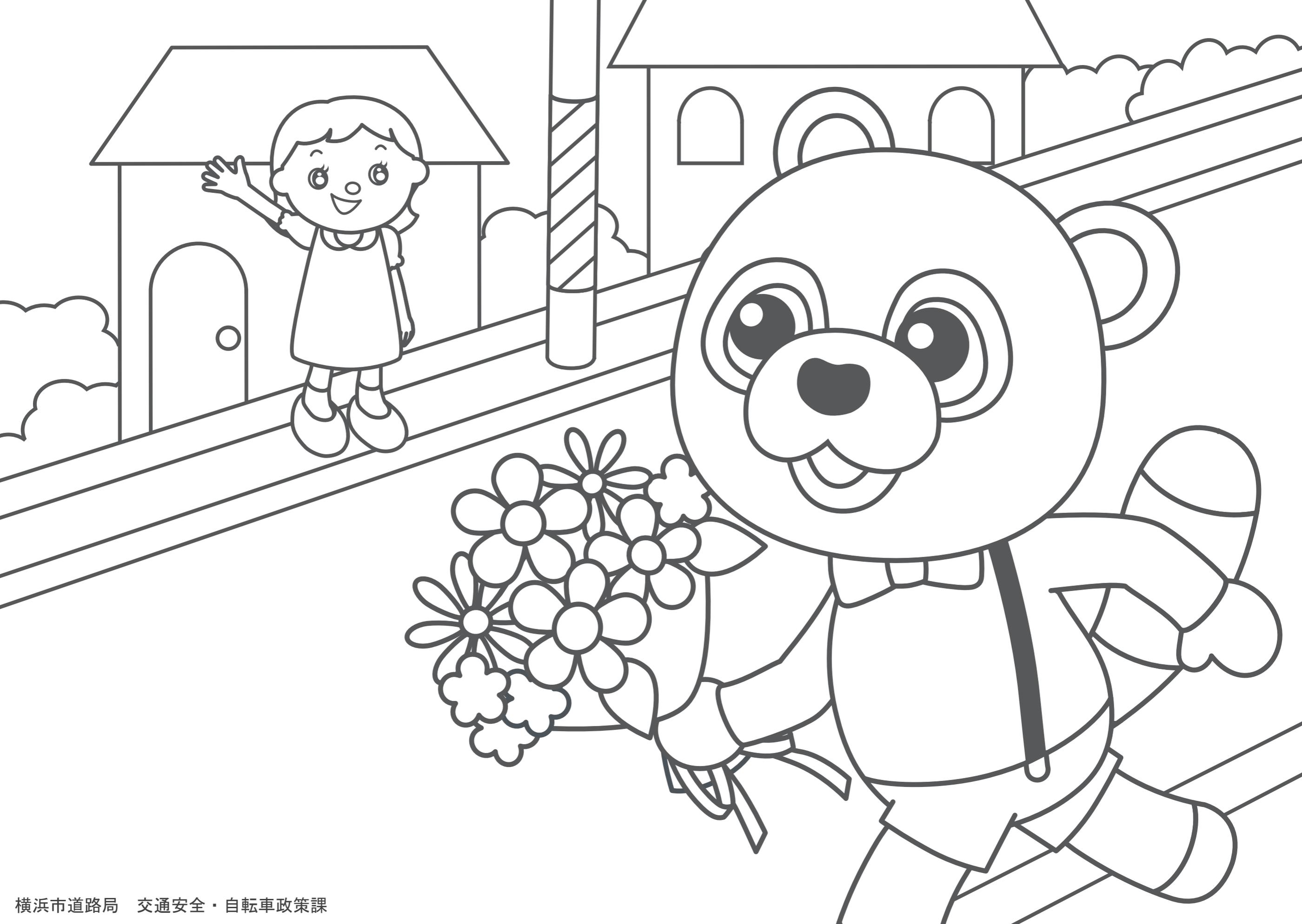
お母さんに教えてもらい、上手に歩いていたらまもる君ですが、道路の向こう側に仲良しのまみちゃんを発見!!  
まもる君は、お母さんの手を離してまみちゃんの方に走って行くことになりました。

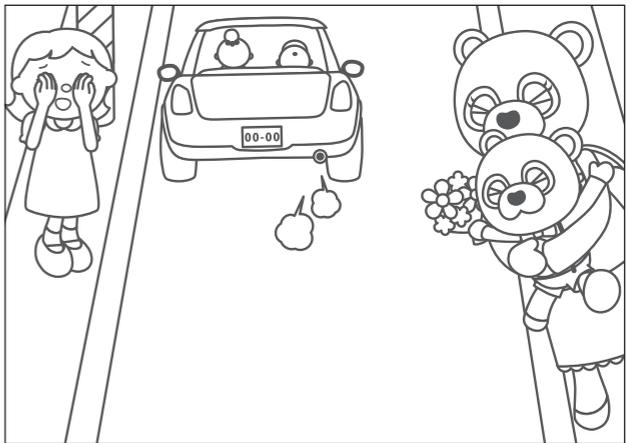
お母さん「あぶない！」

諭すように。

急いでいる感じで。

大きな声で叫び、急いでめくる。





## 4

お母さんが慌てて止めてくれたので大丈夫でしたが、目の前を車が通り過ぎていきました。

お母さん「もし、あのままお友達の方に走って行っていたら、車とぶつかっていたわよ。今みたいに、急に道路に出てしまうことを飛び出さって言うのよ。」

まもる「そうか。飛び出さって、危ないことなんだね。」

今度は大きな道路に出てきました。

### ①までぬく

お母さん「さあ、横断歩道を渡りますよ。まもる君は、横断歩道の渡り方は知っている？」

まもる「ううん。知らない。」

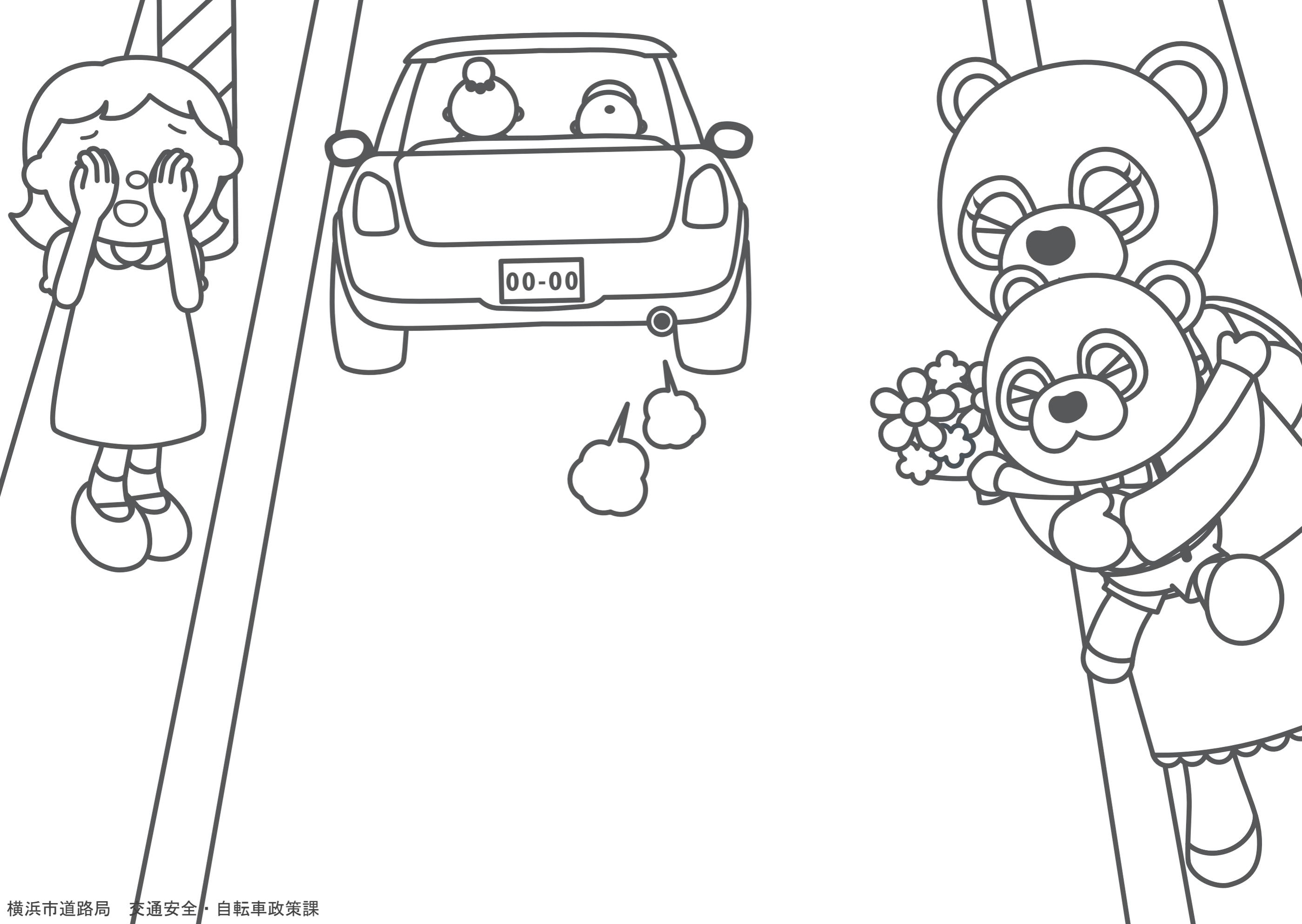
お母さん「では、お母さんと一緒にやってみようね。」

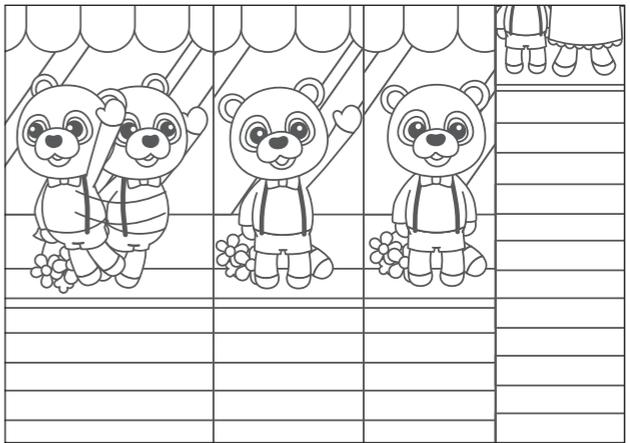
### ②までぬく

諭すように。

強調してゆっくり話す。

納得した感じで。





5

お母さん「まずは横断歩道の所で止まること。」

③までぬく

お母さん「そして、車の運転手さんによく分かるように手をピンと伸ばしてね。」

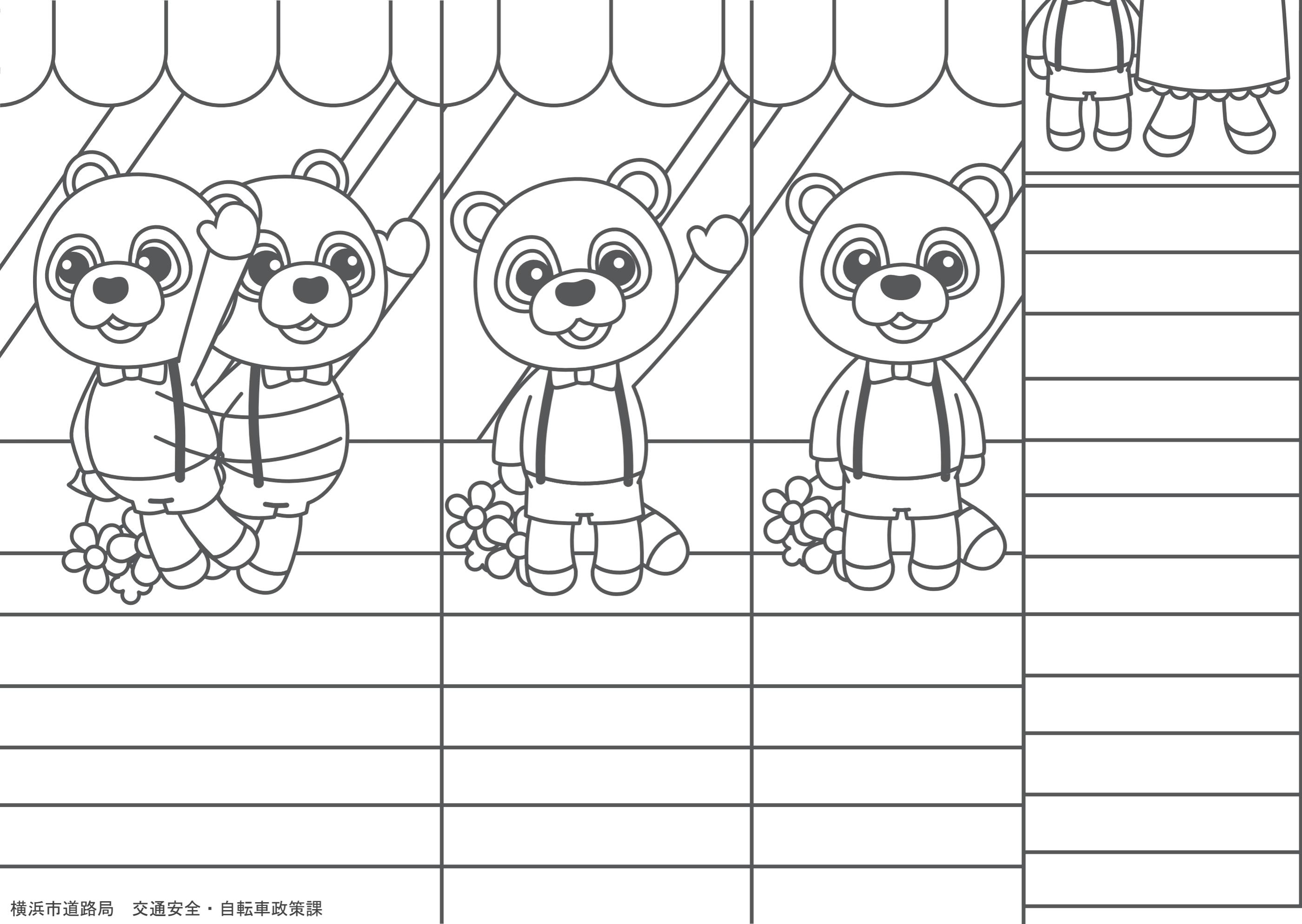
のこりをぬく

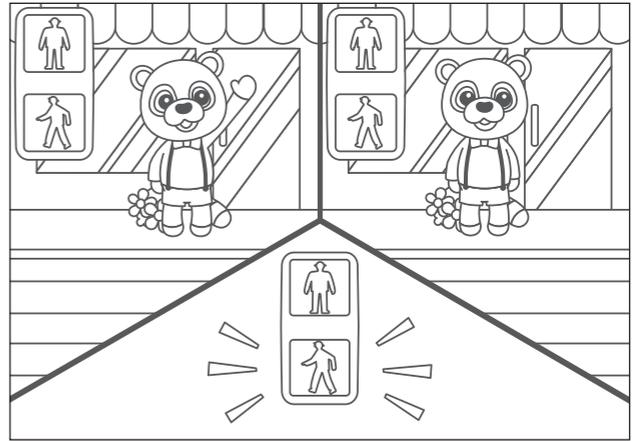
②  
そうしたら、**右、左、もう一度右を見て**  
車が来ないことをちゃんと確かめて、  
大丈夫だったら渡りましょう。  
もし車が来ていたら、絶対に渡ってはダメよ。」

③  
あ、そうそう。お顔だけだと見えないから  
体もしっかりと、右や左に向けて確認してね。」

太字はゆっくり、  
点で間を開けて。

諭すように。  
子どもと一緒に向きを  
変えて確認してみても  
よい。





## 6

道路の向こうを見ると、今度は横断歩道の上に  
光っている物を見つけました。

まもる 「お母さんあれはなあに？」

お母さん 「あれは、信号って言うのよ。

赤の時は渡りません。

青になったら渡れるけれど、車が来ないので  
確かめてから渡るのよ。」

まもる 「あれ？チカチカになった。」

お母さん 「青がチカチカしている時は、

もうすぐ赤になる合図だから、渡らないでね。  
ちやんと、次に青になるのを待ちましようね。」

まもる 「ふくん。たくさんお約束があるんだね。」

お母さん 「そうね。でも、このお約束はとっても大切なのよ。

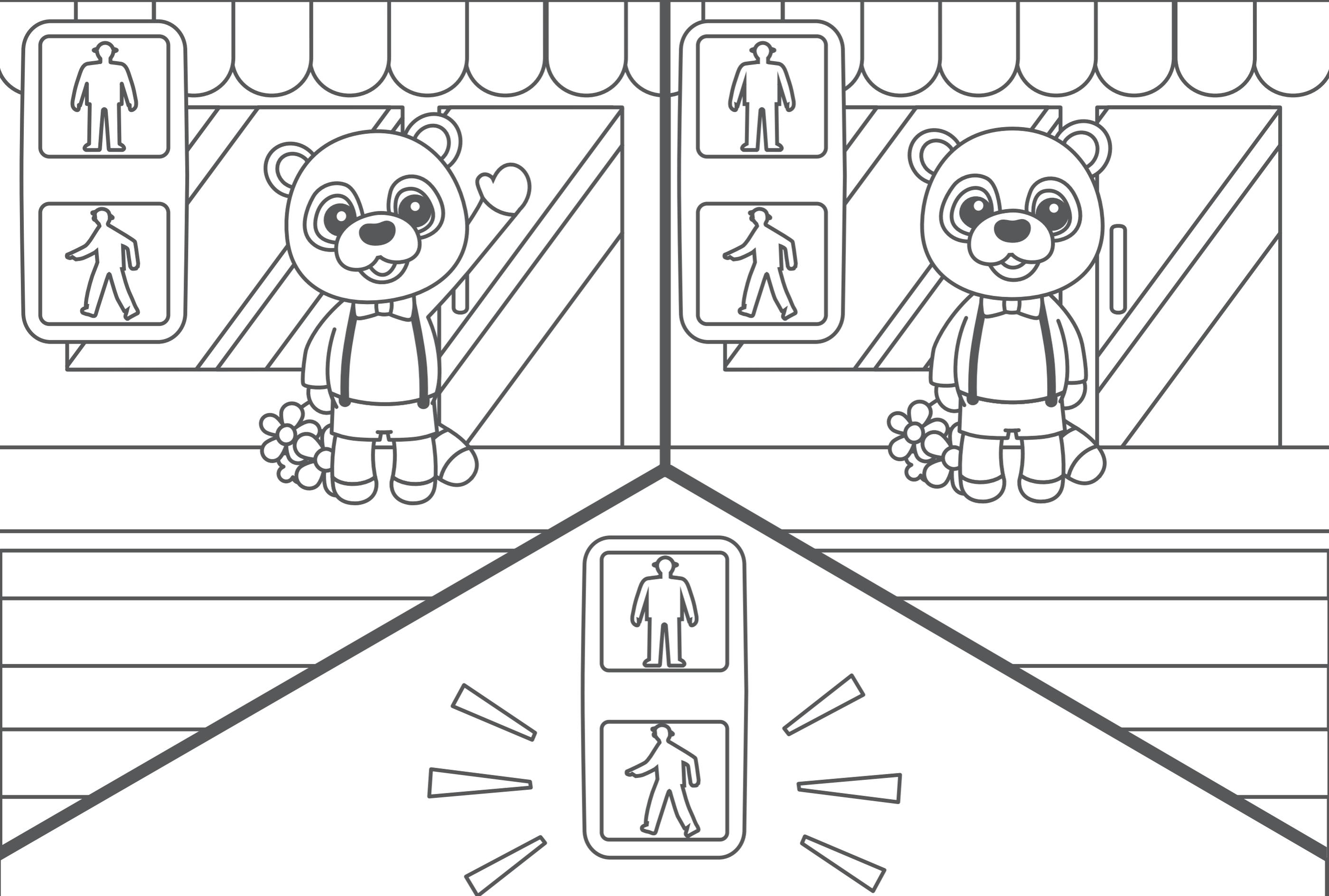
どんな時にもちゃんと守りましようね。」

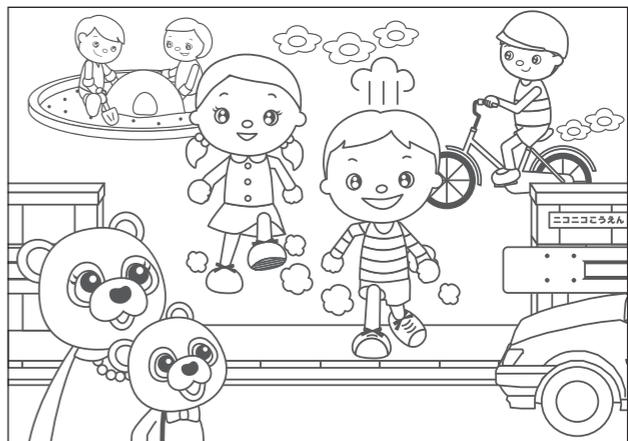
※保護者の方へ  
色見本の信号機はLED  
D信号機にしています。

赤の場面を指しながら。  
青の場面を指しながら。

チカチカの場面を  
指しながら。

ゆっくり諭すように。





# 7

お母さんに教えてもらったお約束をちゃんと守って、  
上手に横断歩道を渡れたまもる君。  
今度は、お友達の楽しそうな声が聞こえる所に  
やってきました。

まもる 「わーい。公園だあ。お友達が遊んでいて  
楽しそうだな。」

お母さん 「自転車の友達、ちゃんとヘルメットを  
被っているわね。」

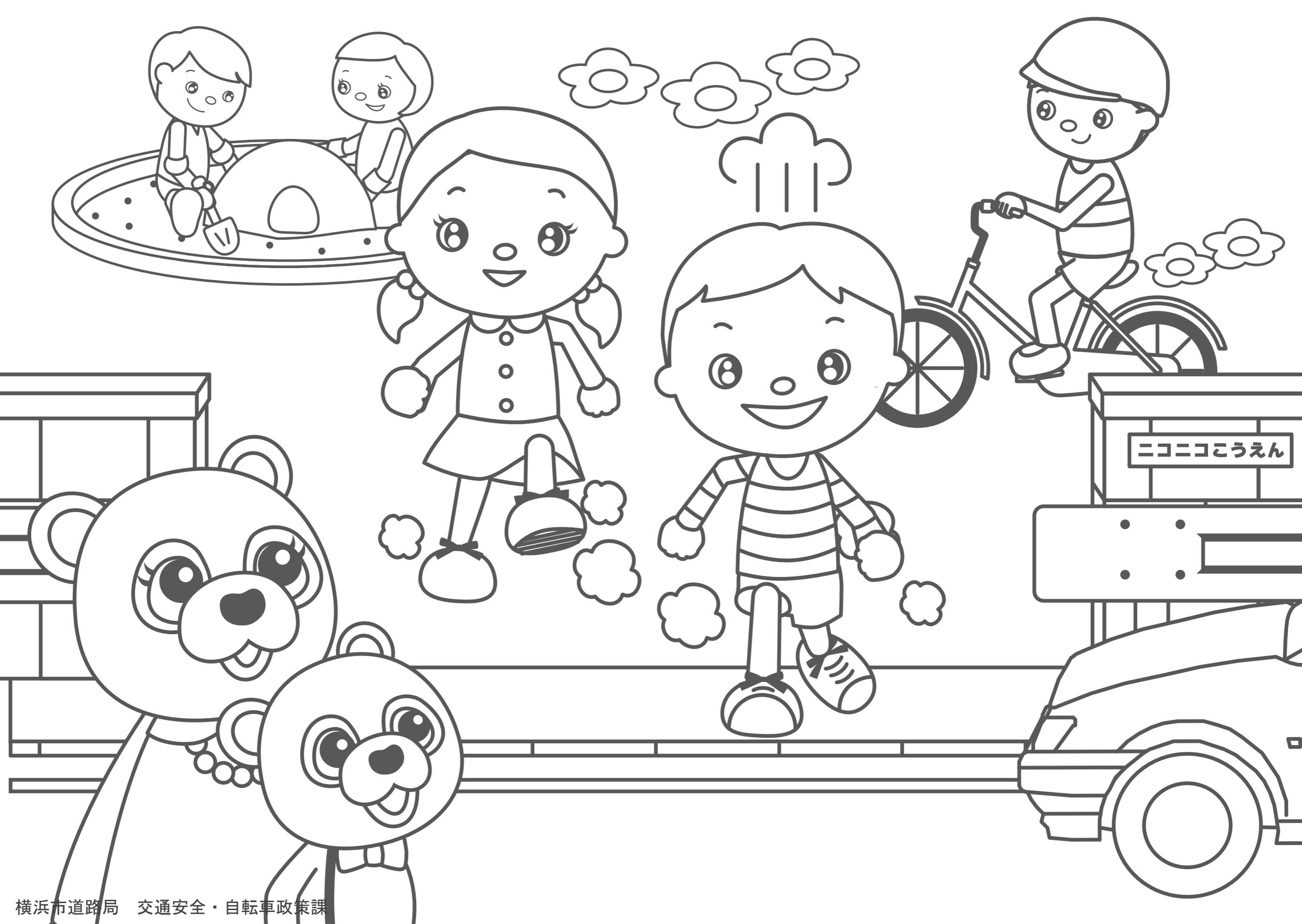
まもる 「あの2人はかけっこしているね。あれれ：：？  
でも、2人も公園の出口の所でも止まらない  
みたい。  
あーっ、道路の方まで行っちゃみたいだけど、  
大丈夫かな？」

お母さん 「キーンッ！向こうから車が来るわ。」

まもる お母さん 「あぶない！！！」

ヘルメットに指を  
さしながら。

勢いよく場面をめくる。



ニコニコこうえん



## 8

キキーンッ！

すごい車のブレーキ音がして、

車が慌てて止まってくれました。

少し間をとって。

道路まで走って行ってしまった2人の目はまんまる。  
運転手さんも、すごくびっくりした顔になっています。

まもる 「わあー。すごく危なかったね、お母さん。

ゆっくりと。

あの2人は右と左をちゃんと見ないで  
出てきちゃったんだね。」

お母さん 「そう。あれも、飛び出したのよ。

太字はゆっくり、  
点で間を開けて。

公園から出る時も、ちゃんと止まって、  
右、左を見て、車や自転車が来ないことを  
確かめてからでないと、危ないわね。」

諭すように。



ニコニコこうえん



## 9

さあ、だんだんルールちゃんのお家が近づいてきました。  
まもるくんは嬉しくて、ちよつとでも早くルールちゃんに  
会いたくなってきました。

まもる 「ねえねえ、お母さん。この曲がり角を過ぎたら、  
ルールちゃんのお家が見えてくるんだよね。」

お母さん 「そうね。でも、ここは車が急に曲がって  
来るから、気を付けないと：：。」

まもる 「わーい。ルールちゃあーん！！」

大変です。まもる君たら、お母さんの手を離して、  
走りだしてしまいました。

あっ、曲がり角の向こうから、何か音が聞こえます。

お母さん 「まもる君、止まってー！！」

子どもから「止まれ」  
の標識の指摘があった  
らこのマークは止まっ  
て、右左を確かめるこ  
とを伝える。

大きな声で。

急いでめくる。



止まれ



10

キキキーッ！

お母さんの声に気が付いたまもる君は、  
曲がり角ギリギリで止まりました。車の運転手さんも、  
ビツクリして急ブレーキをかけ、止まってくれました。

さあ、どうしてまもる君は、車にぶつかりそうになっただでしょうか。

そう、お母さんをつないだ手を離してしまったこと、  
そして、右・左を見ないで走って行ってしまったこと、  
**飛び出し**をしてしまったからです。

いつもは優しいお母さんが、怖い顔で言いました。

お母さん「まもる君。お約束は守ってね。」

それに飛び出しは絶対にだめよ！

特に、曲がり角は、運転手さんからも見えにくい  
から、車が来ないことをちゃんと確かめてから  
歩かないと、すごく危ないのよ。」

まもる 「お母さん、ごめんなさい。」

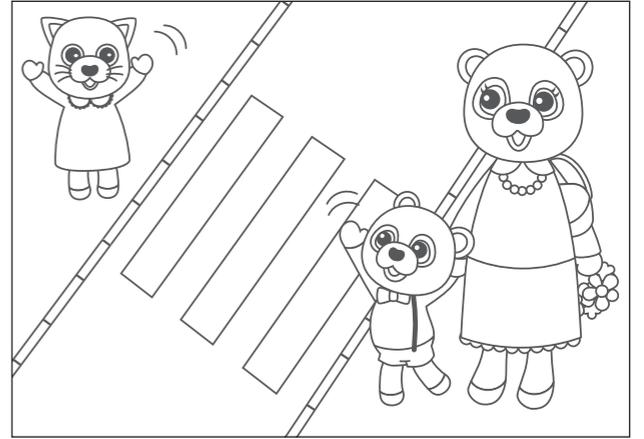
車にぶつかると思って、とっっても怖かったよ。」

子どもに問い掛けて、  
声を拾い、文につなげ  
る。

諭すように。



止まれ



# 11

まもる君、車とぶつからなくて、本当に良かったですね。  
ちよっと怖い思いをしたので、  
お母さんとしっかり手をつないで歩いて行くと、  
ルールちゃんの姿が見えました。

ルール 「まもるくん！」

ルールちゃんもまもる君に会えるのが嬉しくて、  
途中までお迎えに来てくれたみたいです。

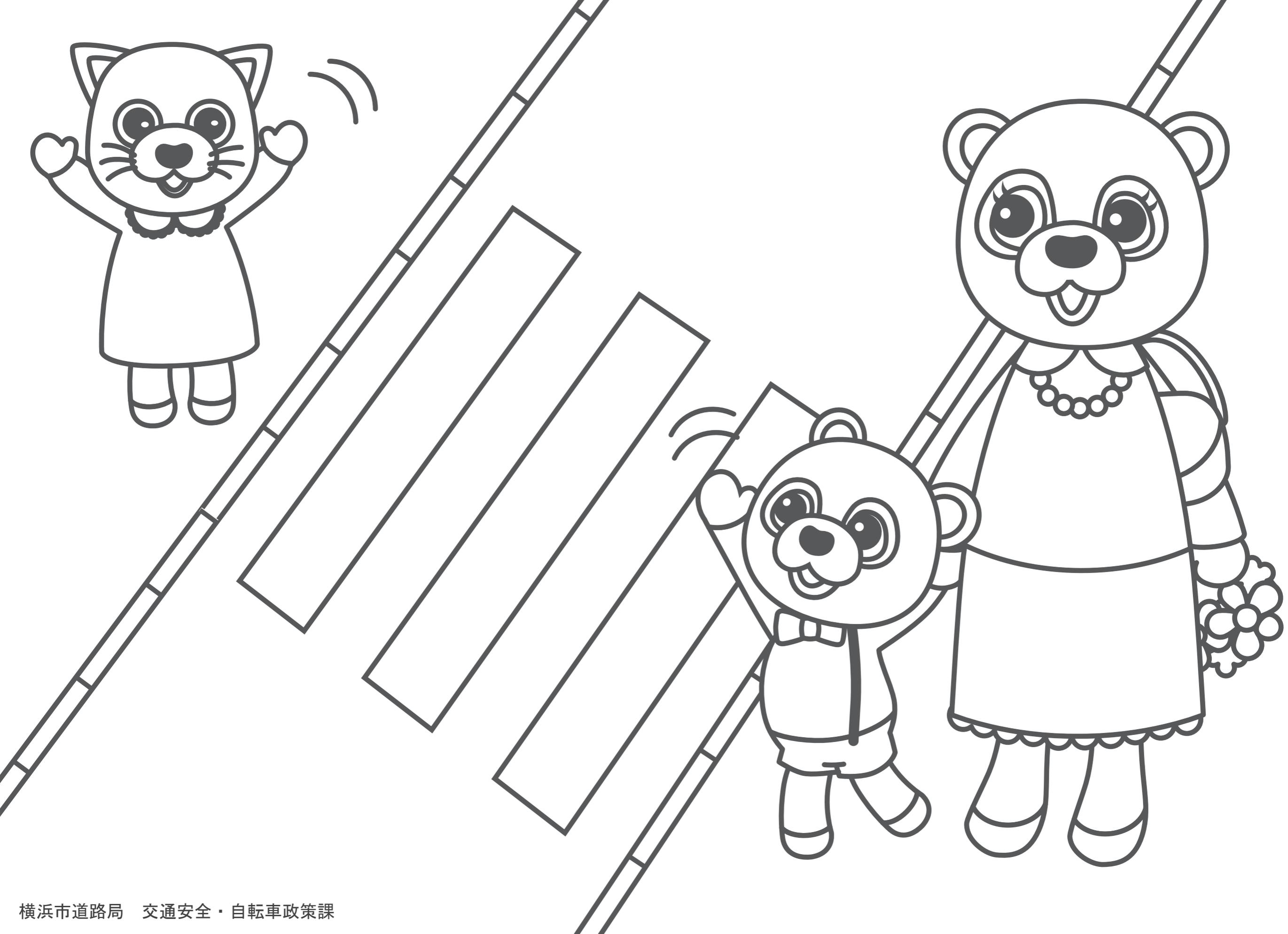
まもる 「ルールちゃん！横断歩道を渡って行くから  
待っててねー！」

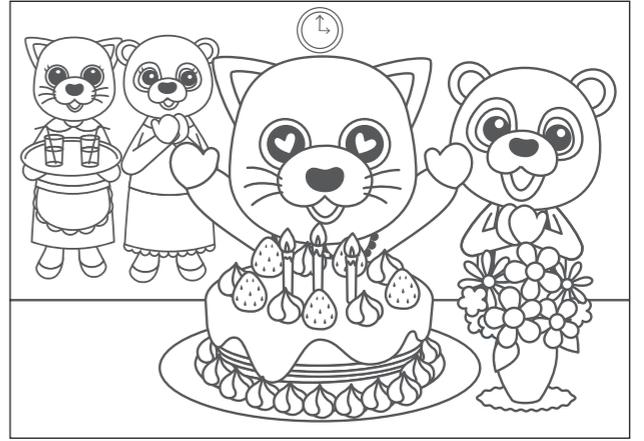
さて、まもる君。お母さんに教えてもらったことを守って、  
上手に渡れるでしょうか？

♪止まって 手を挙げて 右見て 左見て  
もう一度右を見て そして渡りましょう

やったあー。まもる君、上手に横断歩道を渡れましたよ。

(♪もりのくまさんの  
メロディーで)  
子どもと一緒に振り  
をつけてもよい。





12

ルールちゃんのお家に着いたまもる君。

お母さん 「ルールちゃん。お誕生日おめでとう！」

さあ、みんなで、お誕生日のお祝い、パーティーの始まりです。ルールちゃんは、まもる君からのプレゼントのお花をとっても喜んでくれました。

美味しいケーキをみんなで食べながら、お家に着くまでのことを、ルールちゃんにもお話ししました。

ルール 「危ないこともあったけれど、道路に飛び出さないことは、とっても大事なことなのね。」

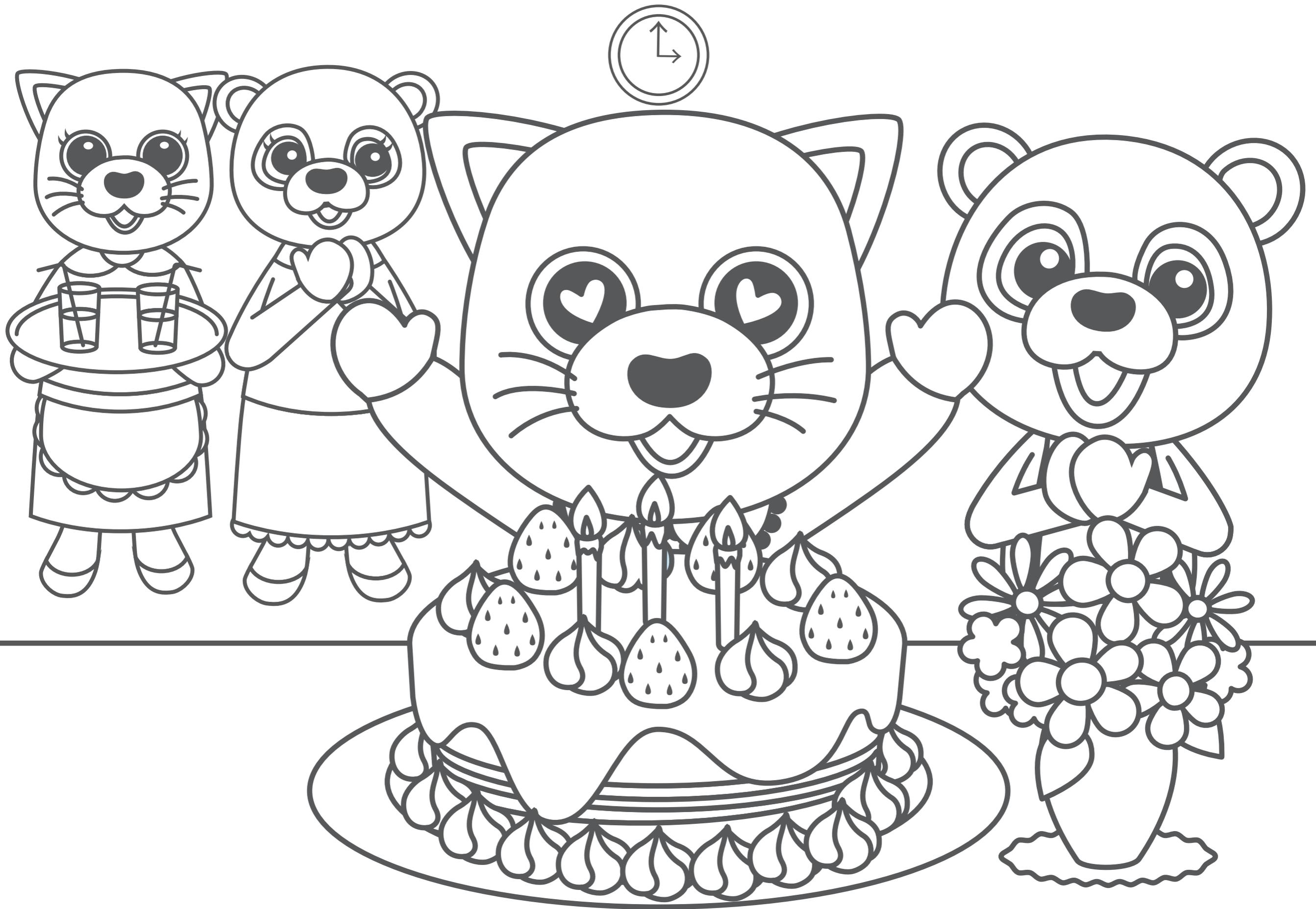
まもる 「そうだね。ルールちゃんも道路を歩く時には、大人の人と手をつないで、横断歩道や曲がり角では、絶対に飛び出さないで、右、左をよく見てね。」

楽しいパーティーは、この後も続きました。

おしまい

ゆっくり、納得した  
感じで。

教えてあげる感じで。





# 『ルールとまもるの』

## 『こうつうあんぜん』

とびだしてなあに?のまき

### 1

♪  
 ハは ハは ハは ハは  
 ツっ ツっ ツっ ツっ  
 ピび ピび ピび ピび  
 ・ ・ ・ ・  
 バば バば バば バば  
 ー ー ー ー  
 スす スす スす スす  
 デー デー デー デー  
 ・ ・ ・ ・  
 トと トと トと トと  
 ウう ウう ウう ウう  
 ・ ・ ・ ・  
 ユー ユー ユー ユー  
 ルールちゃん!

まもる君のお家から、元気なお歌が聞こえてきます。

今日は、ルールちゃんのお誕生日です。

ルールちゃんから招待状をもらったまもる君は、

プレゼントのお花を準備して、お母さんと一緒に

お祝いに出掛けます。

まもる 「ルールちゃん、喜んでくれるかな？」

ちよっぴりおしやれをしたまもる君は、ウキウキです。

演出

♪誕生日の歌を  
 まもる君が楽しそう  
 に練習している感じ  
 で。

嬉しそうな感じで。